



Extensions for Steinberg DAW

取扱説明書

(MOTIF XSシリーズ)

目次

Extensions for Steinberg DAWとは	2
Extensions for Steinberg DAWで実現される機能	2
■ オーディオドライバーの自動設定	2
■ 機器名を含めたオーディオ/MIDIポート名表示	2
■ リモートデバイスとして自動設定	3
■ 入出力バス設定済みのプロジェクトテンプレートを用意	4
■ MOTIF XS6/7/8のソングの読み込み	5
困ったときは	7
商品に関するお問い合わせ窓口	7

ご注意

- ・ このソフトウェアおよびマニュアルの著作権はすべてヤマハ株式会社が所有します。
- ・ このソフトウェアをインストールする前に、必ずソフトウェア使用許諾契約をお読みください。ソフトウェア使用許諾契約は、Extensions for Steinberg DAWインストールガイドの巻末に記載されています。
- ・ このソフトウェアおよびマニュアルの一部または全部を無断で複製、改変することはできません。
- ・ このソフトウェアおよびマニュアルを運用した結果およびその影響については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・ CubaseはSteinberg社の登録商標です。
- ・ Extensions for Steinberg DAWは、改良のため予告なしにバージョンアップすることがあります。最新ソフトウェアは、下記URLからダウンロードできます。
<http://www.yamaha.co.jp/product/syndtm/dl/>
- ・ このマニュアルに掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものです。したがって、実際の仕様と異なる場合があります。
- ・ 市販の音楽/サウンドデータは、私的使用のための複製など著作権上問題にならない場合を除いて、権利者に無断で複製または転用することを禁じられています。ご使用時には、著作権の専門家にご相談されるなどのご配慮をお願いします。
- ・ Windowsは、米国Microsoft® Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ Macintoshは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- ・ MIDIは社団法人音楽電子事業協会(AMEI)の登録商標です。
- ・ その他、このマニュアルに掲載されている会社名、製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。
- ・ アプリケーションのバージョンアップなどに伴うシステムソフトウェアおよび一部の機能や仕様の変更については、下記URLをご参照ください。
<http://www.yamaha.co.jp/product/syndtm/>

Extensions for Steinberg DAWとは

Extensions for Steinberg DAWは、Steinberg社製DAWソフトウェアの機能拡張を目的としてヤマハが開発したプログラムプラグインとプロジェクトテンプレート集です。これをインストールすると、Steinberg社製DAWとヤマハ製品を組み合わせた場合に、さまざまな連携機能を実現できます。

本書では、Cubase 4 / Cubase Studio 4 / Cubase AI4およびExtensions for Steinberg DAWがインストールされたコンピュータに、IEEE1394ケーブルを使ってMOTIF XSシリーズ(MOTIF XSやMOTIF-RACK XS)を接続した場合について説明します。なお、「MOTIF XSソングの読み込み」については、USB記憶装置を準備するか、MOTIF XS とコンピュータを、ETHERNETでネットワーク接続しておく必要があります。

NOTE

- Extensions for Steinberg DAW で実現される機能（「ソングの読み込み」は除く）を活用するためには、MOTIF XS6/7 にオプションのmLAN16E2が装着されている必要があります。本書では、MOTIF XS6/7やMOTIF-RACK XS にmLAN16E2が既に装着されている前提で説明を行いません。
- ソングの読み込み機能を利用するにはCubase 4のVersionが4.0.2以降である必要があります。

Extensions for Steinberg DAWで実現される機能

Extensions for Steinberg DAWをインストールすると、Cubase 4 / Cubase Studio 4 / Cubase AI4とMOTIF XSシリーズとを組み合わせ、以下の機能を実現できます。

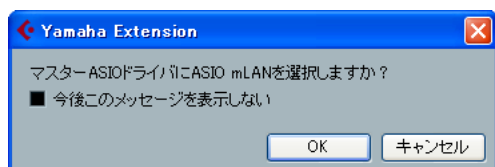
- オーディオドライバーの自動設定
- 機器名を含めたオーディオ/MIDIポート名表示
- リモートデバイスとして自動設定 (MOTIF XS6/7/8のみ)
- 入出力バス設定済みのプロジェクトテンプレート
- MOTIF XS6/7/8ソングの読み込み (MOTIF XS6/7/8のみ)

NOTE

- Extensions for Steinberg DAWをインストールする前に、Cubase 4 / Cubase Studio 4 / Cubase AI4 をインストールしてください。Cubase 4 / Cubase Studio 4 / Cubase AI4のインストール先に、MOTIF XS6/7/8やMOTIF-RACK XS用のプロジェクトテンプレートがインストールされます。

■ オーディオドライバーの自動設定

Extensions for Steinberg DAWをインストールしておくと、Cubase起動時に下記画面が表示され、[OK]をクリックすることでSteinberg DAW対応Driver (ASIO mLAN) に自動的に切り替えられます。



NOTE

- この機能を実現するため、Cubase を起動する前にMOTIF XSシリーズ本体とコンピュータをIEEE1394ケーブルで接続し、MOTIF XSシリーズ本体の電源を入れておいてください。

■ 機器名を含めたオーディオ/MIDIポート名表示

Extensions for Steinberg DAWをインストールしておくと、Cubase のデバイス設定画面において「MOTIF XS」などの機器名を含んだポート名称が表示されるようになり、便利です。オーディオポートなら「MOTIF XS Main L」、MIDIポートなら「MOTIF XS MIDI IN」といった表示になります。詳細は、次ページの表をご覧ください。

NOTE

- この機能を実現するため、Cubase を起動する前にMOTIF XSシリーズ本体とコンピュータをIEEE1394ケーブルで接続し、MOTIF XSシリーズ本体の電源を入れておいてください。
- MOTIF XSシリーズが使用していないポートは、「mLAN 10」のように機器名を含まない表示になります。
- Extensions for Steinberg DAW対応Driverのオーディオ/MIDIポート名を変更しても、Cubaseを再起動すると次の表の表示に戻ります。

MOTIF XSの場合

MOTIF XSのMIDIポート	IN(コンピューター←MOTIF XS)	OUT(コンピューター→MOTIF XS)
1	MOTIF XS	MOTIF XS
2	MOTIF XS Remote	MOTIF XS Remote
3	MOTIF XS MIDI IN	MOTIF XS MIDI OUT

MOTIF XSのオーディオポート	IN(コンピューター←MOTIF XS)	OUT(コンピューター→MOTIF XS)
1	MOTIF XS Main L	MOTIF XS Main L
2	MOTIF XS Main R	MOTIF XS Main R
3	MOTIF XS 1	MOTIF XS mLAN L
4	MOTIF XS 2	MOTIF XS mLAN R
5	MOTIF XS 3	MOTIF XS Asgn L
6	MOTIF XS 4	MOTIF XS Asgn R
7	MOTIF XS 5	—
8	MOTIF XS 6	—
9	MOTIF XS 7	—
10	MOTIF XS 8	—
11	MOTIF XS 9	—
12	MOTIF XS 10	—
13	MOTIF XS 11	—
14	MOTIF XS 12	—
15	MOTIF XS 13	—
16	MOTIF XS 14	—

MOTIF-RACK XSの場合

MOTIF-RACK XSのMIDIポート	IN(コンピューター←MOTIF-RACK XS)	OUT(コンピューター→MOTIF-RACK XS)
1	MOTIF-RACK XS	MOTIF-RACK XS
2	—	—
3	MOTIF-RACK XS MIDI IN	MOTIF-RACK XS MIDI OUT

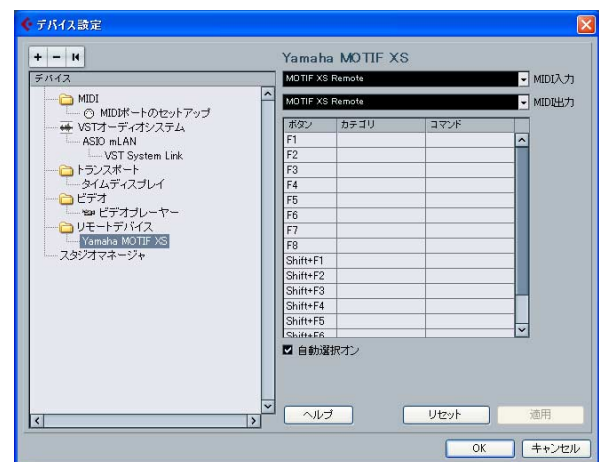
MOTIF-RACK XSのオーディオポート	IN(コンピューター←MOTIF-RACK XS)	OUT(コンピューター→MOTIF-RACK XS)
1	MOTIF-RACK XS Main L	MOTIF-RACK XS Main L
2	MOTIF-RACK XS Main R	MOTIF-RACK XS Main R
3	MOTIF-RACK XS 1	MOTIF-RACK XS mLAN L
4	MOTIF-RACK XS 2	MOTIF-RACK XS mLAN R
5	MOTIF-RACK XS 3	MOTIF-RACK XS Asgn L
6	MOTIF-RACK XS 4	MOTIF-RACK XS Asgn R
7	MOTIF-RACK XS 5	—
8	MOTIF-RACK XS 6	—
9	MOTIF-RACK XS 7	—
10	MOTIF-RACK XS 8	—

MOTIF-RACK XSのオーディオポート	IN(コンピューター←MOTIF-RACK XS)	OUT(コンピューター→MOTIF-RACK XS)
11	MOTIF-RACK XS 9	—
12	MOTIF-RACK XS 10	—
13	MOTIF-RACK XS 11	—
14	MOTIF-RACK XS 12	—
15	MOTIF-RACK XS 13	—
16	MOTIF-RACK XS 14	—

■ リモートデバイスとして自動設定

Extensions for Steinberg DAWをインストールしておく、MOTIF XS をコンピューターにIEEE 1394ケーブルで接続しCubase を起動するだけで、MOTIF XSがCubaseのリモートデバイスとして自動的に登録されます。MIDIポートなども自動的に設定されます。[デバイス] → [デバイス設定] で呼び出されるデバイス設定画面上で確認してみましょう。MOTIF XSパネル上でのリモート機能の割り当てについては、MOTIF XS取扱説明書およびデータリスト2 をご参照ください。

MOTIF-RACK XSはリモートデバイスとして設定されません。



表示されるMOTIF XS6/7/8のリモートデバイス名、および各リモートデバイスに設定されるMIDIポート名は以下になります。

リモートデバイス名 : Yamaha MOTIF XS
設定されるMIDI In/Outポート : MOTIF XS Remote

NOTE

- ・ Cubaseを起動して自動登録されたあとにMIDIポートを変更した場合でも、再起動すると上記のMIDIポートに再設定されます。
- ・ IEEE 1394ケーブルによる接続以外に、USB接続の場合でも、リモートデバイスにYamaha MOTIF XSを選択できます。デバイス設定画面の[+]をクリックすると出てくるデバイスの一覧から、「Yamaha MOTIF XS」を選択してください。ただしこの場合、MIDIポートは手動で設定してください。

初期設定では、リモートコントロール用のMIDIポート「MIDI XS Remote」が「All MIDI Inputs」の対象に設定されている場合があります。その状態でMOTIF XS パネルからとランスポートなどのリモート操作を行なうと、Cubase のトラックにリモート操作によって発生したMIDIイベントが記録されてしまいます。音楽演奏に関係ないMIDIイベントが記録されないよう、「MOTIF XS Remote」ポートを「ALL MIDI Inputs」の対象から外しておきましょう。以下の手順に従ってください。

- 1 [デバイス]→[デバイス設定]でデバイス設定画面を開きます。
- 2 デバイス欄の「MIDI」→「MIDIポートセットアップ」を選択します。
- 3 MIDIポート「MOTIF XS Remote」の「All Inputs」のチェックを外します。
- 4 [OK]をクリックしてデバイス設定画面を閉じます。

NOTE

- ・ この設定は、次回Cubaseを起動したときにも引き継がれます。毎行なう必要はありません。
- ・ Cubase側の詳しい設定方法については、Cubaseのオペレーションガイドをご参照ください。

■ 入出力バス設定済みのプロジェクトテンプレートを用意

Extensions for Steinberg DAWをインストールすると、MOTIF XS6/7/8やMOTIF-RACK XS用のプロジェクトのテンプレートがインストールされます。Cubaseで新しいプロジェクトを作成するときに、このテンプレートを選択すると、VST コネクションの入出力バスが設定済みのため、面倒なオーディオポートとバスの設定を手動で行うことなく、すぐにマルチオーディオ録音などが行なえます。

NOTE

- ・ プロジェクトテンプレートとMOTIF XSシリーズ本体の設定を一致させるため、Editorあるいは本体ADのOutputをm13&14に設定してください。
- ・ プロジェクトテンプレートを選択すると、それまで設定されていた入出力バスの設定は上書きされます。



MOTIF-RACK XS用プロジェクトテンプレート
MOTIF XS6/7/8用プロジェクトテンプレート

MOTIF XS6/7/8用プロジェクトテンプレート

- ・ **Yamaha MOTIF XS multi channel recording**
Cubaseの各オーディオトラックに、MOTIF XSの各チャンネルのオーディオ出力がマルチで入力される設定です。MOTIF XSのオーディオ出力をマルチで録音したいときにお使いいただくと便利です。VSTコネクション画面の入出力バスとデバイスポートの設定は、以下のとおりです。

Cubase Inputs	
Input Bus	Device Port
MOTIF XS Main	MOTIF XS Main L
	MOTIF XS Main R
MOTIF XS 1/2	MOTIF XS 1
	MOTIF XS 2
MOTIF XS 3/4	MOTIF XS 3
	MOTIF XS 4
MOTIF XS 5/6	MOTIF XS 5
	MOTIF XS 6
MOTIF XS 7/8	MOTIF XS 7
	MOTIF XS 8
MOTIF XS 9/10	MOTIF XS 9
	MOTIF XS 10
MOTIF XS 11/12	MOTIF XS 11
	MOTIF XS 12
MOTIF XS AD in	MOTIF XS 13
	MOTIF XS 14

Cubase Outputs	
Output Bus	Device Port
MOTIF XS Main	MOTIF XS Main L
	MOTIF XS Main R
MOTIF XS Asgn	MOTIF XS Asgn L
	MOTIF XS Asgn R
MOTIF XS mLAN	MOTIF XS mLAN L
	MOTIF XS mLAN R

- ・ **Yamaha MOTIF XS AD input recording**
Cubaseのオーディオトラックに、MOTIF XSのADインプットチャンネルの信号が入力される設定です。MOTIF XSをCubaseの「外部インストールメント」として設定する際にお使いいただくと便利です。入出力バスとデバイスポートの設定は、上記Yamaha MOTIF XS multi channel recordingと同じです。ただし、入力バスの設定はMOTIF XS AD inのみになっています。

MOTIF-RACK XS用プロジェクトテンプレート

- ・ **Yamaha MOTIF-RACK XS multi channel recording**
Cubaseの各オーディオトラックに、MOTIF-RACK XSの各チャンネルのオーディオ出力がマルチで入力される設定です。MOTIF-RACK XSのオーディオ出力をマルチで録音したいときにお使いいただくと便利です。

VSTコネクション画面の入出力バスとデバイスポートの設定は、以下のとおりです。

Cubase Inputs	
Input Bus	Device Port
MOTIF-RACK XS Main	MOTIF-RACK XS 1
	MOTIF-RACK XS 2
MOTIF-RACK XS 1/2	MOTIF-RACK XS 3
	MOTIF-RACK XS 4
MOTIF-RACK XS 3/4	MOTIF-RACK XS 5
	MOTIF-RACK XS 6
MOTIF-RACK XS 5/6	MOTIF-RACK XS 7
	MOTIF-RACK XS 8
MOTIF-RACK XS 7/8	MOTIF-RACK XS 9
	MOTIF-RACK XS 10
MOTIF-RACK XS 9/10	MOTIF-RACK XS 11
	MOTIF-RACK XS 12
MOTIF-RACK XS 11/12	MOTIF-RACK XS 13
	MOTIF-RACK XS 14
MOTIF-RACK XS 13/14	MOTIF-RACK XS 15
	MOTIF-RACK XS 16

Cubase Outputs	
Output Bus	Device Port
MOTIF-RACK XS Main	MOTIF-RACK XS Main L
	MOTIF-RACK XS Main R
MOTIF-RACK XS Asgn	MOTIF-RACK XS Asgn L
	MOTIF-RACK XS Asgn R
MOTIF-RACK XS mLAN	MOTIF-RACK XS mLAN L
	MOTIF-RACK XS mLAN R

■ MOTIF XS6/7/8のソングの読み込み

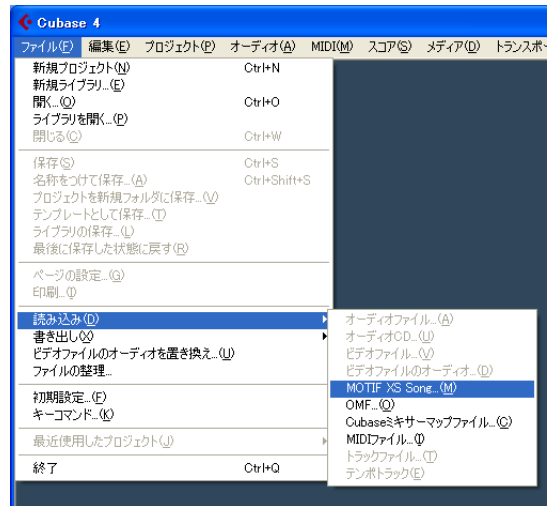
Extensions for Steinberg DAWをインストールすることにより、MOTIF XS のソングトラックの録音したデータを Cubase のプロジェクトに読み込むことができるようになります。MIDI イベントだけでなくトラックに録音されたオーディオデータも合わせて読み込まれます。ただしミキシング設定は読み込まれません。

また、MOTIF-RACK XSのソングは読み込めません。

ソングの読み込みは、以下の手順で実行できます。

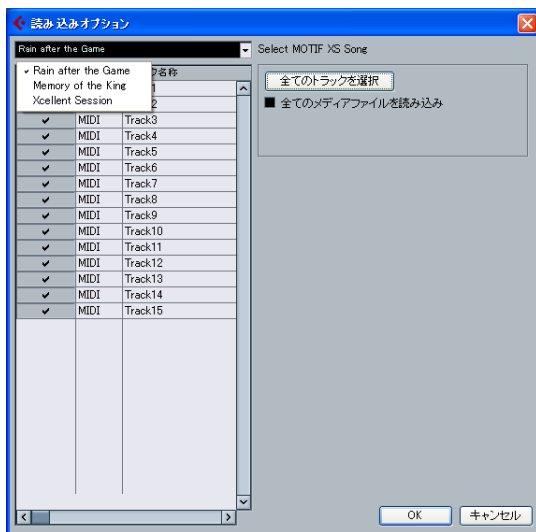
- 1 MOTIF XS のファイルモードで、MOTIF XS 本体で作ったすべてのユーザーデータ(ファイルタイプ = All)を、USB TO DEVICE端子に挿入したUSB記憶装置に保存(セーブ)します。続いて、USB 記憶装置をMOTIF XS からはずし、コンピューターのUSB端子に挿入します。
USB記憶装置には、拡張子「.XOA」のファイルがUSB記憶装置に保存されます。
なお、MOTIF XS がコンピューターとイーサネットケーブルでネットワーク接続されている場合は、保存先(セーブ先)としてコンピューターのハードディスクドライブを指定するのもよいでしょう。

- 2 コンピューター上で、[ファイル]→[読み込み]→[**MOTIF XS Song**]を選択します。
「読み込み MOTIF XS Song」画面が表示されます。

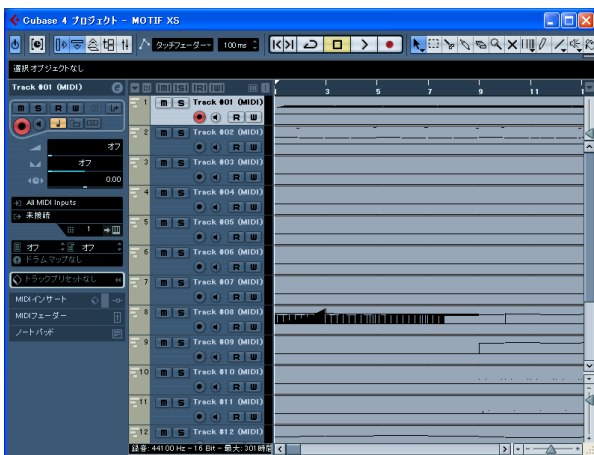


- 3 「読み込みMOTIF XS Song」画面で、手順1で保存されたファイル(拡張子: XOA)を選び、[OK]をクリックします。
ディレクトリーの選択画面が表示されます。
- 4 ディレクトリーの選択画面で、Cubase のプロジェクトファイルの保存先を選択し、[OK]をクリックします。
読み込みオプション画面が表示されます。

5 読み込みオプション画面で、読み込むソングをプルダウンメニューから選択し、取り込むトラックをチェックした上で[OK]をクリックします。



画面上部のポップアップメニューから読み込みたいソングを選び、続いて読み込みたいトラックを選びます。ソング全体を読み込みたい場合は「全てのトラックを選択」をクリックします。ソングとトラックを選択したあと、[OK] をクリックして読み込みを実行します。指定したソングの各トラックデータがCubase のプロジェクトの各トラックに読み込まれます。



読み込むソングについて

ファイルとプロジェクトについて

- 読み込みの対象は、MOTIF XS の「All」タイプのファイル (拡張子: XOA) だけです。その他のタイプのファイルは、ソングデータが含まれていたとしても読み込み対象にはなりません。
- ソングの読み込みで作られたプロジェクトのサンプリング周波数は44.1 kHz になります。したがって、MOTIF XSソングモードでサンプリング周波数 = 44.1kHz 以外でサンプリングされたサンプルボイスは、ソング読み込み後のプロジェクトで、正しいピッチで鳴りません。サンプルボイスを含むソングをCubaseに読み込みたい場合は、MOTIF XSソングモードでのサンプリング時の周波数を44.1 kHzに設定してください。

MIDIトラックについて

- MOTIF XSソングのMIDIトラックは、そのままMIDIトラックとしてCubaseプロジェクトに読み込まれます。各トラックに設定されているMIDI送信チャンネル設定も、そのまま引き継がれます。
- ソングモード以外のモードでのサンプリングにより作られたユーザーウェブフォームを使ったボイスで録音されたトラック、つまりサンプルボイスを使っていないトラックは、MIDIトラックとして読み込まれます。
- MOTIF XSソングのミキシング設定は読み込み対象にはなりませんので、ボリュームやパンは「オフ」に設定された状態でプロジェクトに読み込まれます。

オーディオトラックについて

- MOTIF XSソングのオーディオトラック (サンプルボイスを呼び出すプログラムチェンジが記録されているトラック) は、そのままオーディオトラックとして Cubase プロジェクトに読み込まれます。
- ミキシング設定は読み込み対象にならないので、ボリュームは0 dB、パンはセンター、EQはフラットに設定された状態でプロジェクトに読み込まれます。
- 「全てのメディアファイルを読み込み」にチェックを入れない場合、サンプルボイスのウェブフォームを構成するサンプル (波形) のうち、実際にソングトラックに録音されているノートナンバーが所属するキーバンクのサンプルだけが、プロジェクトへの読み込み対象となります。ソングトラックで使われているサンプルボイスの全サンプル (波形) を読み込みたい場合は、「全てのメディアファイルを読み込み」にチェックを入れてください。

その他

- ソングの読み込みでは、MOTIF XS ソングのトラックに録音されたデータだけが対象になります。ミキシング設定はプロジェクトに読み込まれないので、ご注意ください。ミキシング設定を反映させたい場合は、MOTIF XSエディターを活用しましょう。Cubase 上から Studio Manager、MOTIF XSエディターを順次起動し、MOTIF XSエディターから「All」ファイル (拡張子: XOA) を呼び出すと、ソング指定を促すメッセージが表示されます。ここで、プロジェクトに読み込んだのと同じソングを指定すると、ミキシング設定がMOTIF XS エディター上に読み込まれます。続いて、MOTIF XSエディター上でSync 機能を実行すると、指定したソングのミキシング設定がMOTIF XS本体に反映されるので、Cubase を再生させたときにオリジナルソングのサウンドが正しく再現されます。
- パターンデータやアルペジオデータは読み込まれません。
- 読み込んだソングをMOTIF XSに戻すことはできません。

困ったときは

■ MOTIF XS6/7/8 から Cubase をリモートコントロールできない

- ・ MOTIF XS6/7/8 とコンピューターが IEEE1394 ケーブルで接続されていますか？
- ・ Cubase 4、Cubase Studio 4、Cubase AI4 のいずれかをお使いですか？ Cubase SX3 など Cubase 4 以前のバージョンでは Cubase との連携機能は動作しません。
- ・ Cubase のデバイス設定ウィンドウ ([デバイス] メニュー → [デバイス設定]) で、リモートデバイスとして「Yamaha MOTIF XS」が登録されていますか？ また、MIDI の入出力のポートとして「MOTIF XS Remote」が選択されていますか？ 選択されていない場合は、手動で設定しなおしてください。

(Macintosh)

[Audio MIDI 設定][アプリケーション] → [ユーティリティ] で選択できます) で、「mLAN Network」という名前の装置に対して MIDI の外部装置を追加している場合は、Cubase のリモートデバイスの MIDI 入出力ポートが自動で設定されない場合があります。その場合には、追加されている外部装置をすべて取り除いていただくか、Cubase のデバイス設定画面のリモートデバイスの MIDI 入出力ポートを手動で該当の MIDI ポートに設定してください。

■ プロジェクトテンプレートがない

- ・ Extensions for Steinberg DAW が正しくインストールされていますか？
- ・ Cubase をインストールする前に、Extensions for Steinberg DAW をインストールした場合、プロジェクトテンプレートファイルは以下の場所にインストールされています。お使いの Cubase のインストール先にテンプレートをコピーしてお使いください。

Windows

C:\Program Files\Steinberg\Cubase 4\templates
C:\Program Files\Steinberg\Cubase Studio 4\templates
C:\Program Files\Steinberg\Cubase AI4\templates

Macintosh

/アプリケーション/Cubase 4.app/Contents/templates/
/アプリケーション/Cubase Studio 4.app/Contents/templates/
/アプリケーション/Cubase AI4.app/Contents/templates/

■ MOTIF XS ソングをうまく読み込めない

- ・ Cubase のバージョンは 4.0.2 以上ですか？
- ・ 読み込みオプション画面のプルダウンメニューでソングを選べない場合、または読み込んだソングのトラックデータが空だった場合は、MOTIF XS で録音したソングを本体内部メモリーにストアせずに USB 記憶装置にセーブした可能性があります。MOTIF XS でソングを録音した場合は、必ずストアを実行してから、セーブを実行しましょう。

商品に関するお問い合わせ窓口

■ Extensions for Steinberg DAW を MOTIF XS シリーズと組み合わせてご利用の場合

ヤマハデジタルインフォメーションセンター

- ◆ TEL: 053-460-1666
- ◆ 受付日: 月曜日～土曜日
(祝日およびセンターの休業日を除く)
- ◆ 受付時間: 10:00～18:00 (土曜日は10:00～17:00)
<http://www.yamaha.co.jp/support/>

■ Cubase 4 / Cubase Studio 4 / Cubase AI4 について

Cubase 4 / Cubase Studio 4 のサポートにつきましては、Steinberg 社のホームページで行なっております。Steinberg 社のホームページでは、製品に関するサポート情報や最新のアップデートデータのダウンロード、FAQなどを下記URLにて公開しております。

<http://www.steinberg.net/jp/>

Cubaseソフトウェアの[ヘルプ(Help)]メニューからSteinberg社のホームページにアクセスできます。(ヘルプメニューにはCubaseのPDFマニュアルや追加情報なども掲載されています。)

■ 営業窓口

国内営業本部 LM営業部 企画推進室

〒108-8568 東京都港区高輪2-17-11
TEL. (03) 5488-5430

PA・DMI 事業部MP推進部マーケティンググループ

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町10-1
TEL. (053) 460-2432

ヤマハデジタル楽器・DTM製品ホームページ

<http://www.yamaha.co.jp/product/syndtm/>

ヤマハマニュアルライブラリー

<http://www.yamaha.co.jp/manual/japan/>

あなたの音楽生活をフルサポート ミュージックイークラブ

<http://www.music-eclub.com/>

お客様サポート&サービス

<http://www.yamaha.co.jp/support/>

* 名称、住所、電話番号、URLなどは変更になる場合があります。